

2026. 7. 10

北九州市教職員組合にゆうす



「討論」のつづきです。

第35回 市教組定期大会、開催される！NO.8

【志井小 権藤代議員の討論】

平和教育の重要性について発言しました。近年、国旗・国歌をめぐる動きや政治的中立性への過度な意識、歴史認識をめぐる議論などを通して、平和教育を取り巻く環境に強い危機感を抱いていると述べました。一方で、組合活動や「8・6 平和のつどい」、沖縄での学びを通して、戦争の実相や平和の大切さを知り、その学びを子どもたちへ伝えていくことが教職員の責務であると強調しました。また、学校現場では多忙化により 6・23 沖縄慰霊の日のとりくみさえ難しくなっている現状を紹介し、平和教育を継続していくためには組合の役割がますます重要であると訴えました。最後に、一人ひとりの行動が平和を守る力になると述べ、「8・6 平和のつどい」への参加を呼びかけ、子どもたちへ平和のバトンをつないでいこうと力強く結びました。

【小倉北特別支援学校 中山代議員の討論】

特別支援教育の環境整備と民主的な職場づくりについて発言しました。今年 1 月に新校舎へ移転し、学習環境は大きく改善された一方で、児童の特性への配慮やこれまでの学校づくりの経験が十分に生かされていない面もあると指摘し、今後の校舎建設では現場の声を反映する仕組みづくりが必要であると訴えました。また、特別支援学校を希望する児童・保護者の思いに寄り添った教育の充実を求めました。さらに、校内人事では組合の申し入れにより民主的な手続きが回復したことを紹介し、組織でとりくむことの大切さを強調しました。あわせて、ハラスメント対策については相談体制の充実や相談員研修の強化、事例の周知、保護者からの過度な要求（カスタマーハラスメント）への対策が不可欠であり、教職員が安心して働ける職場づくりを進めていく必要があると訴えました。

【花尾小 会計年度任用職員 園木代議員の討論】

会計年度任用職員の勤務・労働条件の改善について発言しました。この 5 年間で、組合のとりくみにより病気休暇の有給化や看護休暇の拡充、期末・勤勉手当の支給など処遇改善が進んだことに感謝を述べる一方、依然として多くの課題が残されていると指摘しました。学習支援員の業務実態とマニュアルとの乖離や、勤務時間が実態に合っていない現状を挙げ、改善の必要性を訴えました。また、最大の課題として雇い止め制度を取り上げ、更新のたびに試験を受けなければならないことが大きな精神的負担になっていると説明しました。他自治体では雇用の安定に向けた見直しも進んでいることから、北九州市でも制度改善を求めていきたいと述べるとともに、正規・非正規の区別なく、すべての教職員が安心して働ける職場づくりを進めていくことの重要性を訴えました。

【竹末小 安永代議員の討論】

平和の課題について発言しました。自民党内で改憲に向けた動きが強まる中、自民党の 2012 年憲法改正草案に見られる国防軍の創設や緊急事態条項などについて、基本的人権や立憲主義への影響を懸念する意見が述べられました。また、情報収集や監視を強化する法整備、教育への政治的介入とも受け取れる動きが進んでいることにも危機感が示され、平和と教育を守るとりくみを一層強める必要性を訴えました。あわせて、日教組が掲げてきた「教え子を再び戦場に送るな」の理念を大切に、改憲反対や平和を守る運動を引き続き進めていくことが重要であると提起。沖縄で「忙しいと言っていたら平和は守れない」という言葉に背中を押され、全国の仲間と行動する中で運動の意義を実感した経験を紹介。「平和なくして教育の充実も、賃金・労働条件の改善も実現できない。市教組として日教組と連帯し、平和を守る運動を前進させていこう」と呼びかけました。

わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください！



///JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎 3 丁目4-1

E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL (093) 953-0381

